

平成23年度「重点研究費」研究成果報告書

申請区分	C	配分額	360,000 円
研究課題	日本語オペラの制作・上演による教師としての表現力の育成 －アウトリーチとメンタリングを通してみる－		

研究代表者

氏名	加藤富美子	所属	芸術・スポーツ科学系 音楽・演劇講座	職名	教授
----	-------	----	-----------------------	----	----

研究分担者

氏名	齊藤 豊 居城 勝彦 朝蔭恵美子	所属	附属世田谷小学校 附属世田谷小学校 附属世田谷小学校	職名	教諭 教諭 教諭
	権 安珠 山口 梨恵	所属	附属竹早小学校 附属竹早小学校	職名	教諭 教諭
	中野 圭祐	所属	附属幼稚園小金井園舎	職名	教諭

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字)

●研究目的ならびに意義

日本語オペラの制作・上演を通して育てることができる教師としての表現力について、学校園へのアウトリーチ公演の成果と現職教育のメンタリングの内容を通して検証することを目的とした。

研究の意義としては、以下の3点を挙げることができる。

- ・日本語オペラの制作・上演がもたらす表現力の子どもたちの受け止め方を、複数の学校園へのアウトリーチ公演を行うなかで、発達段階別に明らかにすることができる。
- ・教師としての表現力の育成をめざした教員養成の在り方として、教育現場でのメンタリングによる成果を、事例を通して示すことができる。
- ・教員養成における、大学と附属校の連携の在り方を示すことができる。

●研究方法

自主ゼミ「劇団おとみっく」のメンバーのうち、大学院修了後附属世田谷小学校の常勤として勤務するようになった者、大学院在学中で附属世田谷小学校、ならびに竹早小学校で非常勤講師として勤務している者を主な対象として、自主ゼミのオペラ上演活動で得た表現力を教育実践に生かすためのメンタリングならびにアウトリーチの在り方を探った。1)アウトリーチ公演での子どもたちの表現力の受け止め方を発達段階別に明らかにする、2)附属学校に勤務している自主ゼミメンバーの表現力を教師としての表現力に生かしていくためのメンタリングの内容をとらえる、という二面からアプローチした。

●研究内容

- 1) 2003年～2010年の自主ゼミ活動において、子どもたちに伝わった表現力について明らかにした。(アンケート、報告書の分析)
- 2) 1)をふまえて、日本語オペラ「口はロボットの口」を制作・上演した。(学芸の森ホール公演:2012年1月7・8日)
- 3) これまでの演目を含めて、以下のアウトリーチ公演を行なった。
 - ・附属幼稚園の夏季保育における「森は生きている」のショート公演(2011年7月15日)
 - ・「ギャラリー・スペース ことのは」におけるこれまでの演目によるコンサート開催(2011年10月16日)
 - ・静岡県掛川市立土方小学校における近隣3小学校全生徒を対象とした「ゼロ弾きのゴーシュ」公演(2011年11月7日)
 - ・附属竹早小学校(2012年2月13日)ならびに附属世田谷小学校(2012年2月17日)における「口はロボットの口」公演
- 4) 附属世田谷小学校ならびに附属竹早小学校における、自主ゼミ所属の新米教師に向けての、教師としての表現力の向上をめざしたメンタリングの記録を集積し分析・考察を行なった。
- 5) アウトリーチ公演の観察記録、ならびに子どもたちからの感想文700枚の実施と分析を通して、子どもに伝わる表現力について分析・考察を行なった。
- 6) 以上をもとに、日本語のオペラの制作・上演活動によってもたらされる表現力が教師としての表現力に生かされるための方策について検討を行ない、日本音楽教育学会関東地区例会(2012年3月24日)において、「大学の自主ゼミ「劇団おとみっく」活動が子どもたちにもたらしたもの」として加藤、齊藤、山口により口頭発表ならびにデモンストレーションを行なった。

●研究成果のまとめ

アウトリーチとメンタリングによる大学と附属学校が連携した教員養成により、子どもたちに「学ぶ喜び」をもたらす教師の表現力を育成できることが明らかとなった。

研究成果発表方法

- ・「オペラ「セロ弾きのゴーシュ」と小学校1年生の学び—大学と附属学校の共同研究が生んだ表現と鑑賞の多様な関連—」加藤富美子・齊藤豊・居城勝彦、日本教育大学協会附属学校音楽部会大会、2011年8月2日、お茶の水女子大学附属小学校
- ・「アウトリーチを子どもの学びにつなげる授業マネージメント—「セロ弾きのゴーシュ」の鑑賞を小学校1年生の学びの中に位置づけた実践—」齊藤豊、日本音楽教育学会第42回大会、2011年10月23日、奈良教育大学
- ・「大学の自主ゼミ「劇団おとみっく」活動が子どもたちにもたらしたもの」加藤富美子・齊藤豊・山口梨恵、日本音楽教育学会関東地区例会、2012年3月24日、国立音楽大学